

にしきのてんじんの
錦天神社は京極錦小路東行当にあり、祭る所天満天神なり。鳥居の額は天満宮と書して、青蓮院尊英法親王の筆
なり。拜殿の額は宝鏡寺宮理秀尼公の筆とぞ。宗旨は時宗にして、紫苔山歡喜光寺河原院六条道場と号す、開基は一
遍上人の甥聖戒上人なり、元亨三年二月十五日寂す。「当寺の旧地は東六条本願寺の境内枳殻馬場なり、左大臣融公の
住給ひし河原院を改て寺となし、六条道場とす」千鳥池「当寺庫裏の後にあり、河原院にありしをこゝにうつす」
塩竈社「千鳥池の中島にあり、祭る所河原左大臣なり」

抑当社は寺内の鎮守にして、古は左大臣融公を祭れり、中頃より天満宮を勧請しけるなり。